



よこた

横田 ゆう

ストップ消費税10%
原発ゼロ・再稼働中止
守り生かそう憲法9条

ごあいさつ

横田ゆう

私は、ケアマネジャーとして高齢者とその家族に寄り添い働いてきました。

今、社会保障が次々に改悪される中で、区民のみなさんの生活がとても苦しくなっていることを肌身で感じています。

足立社会保障推進協議会の会長として、社会保障拡充のために草の根の運動をしてきましたが、今度は、針谷みきお区議の後継ぎとして、区政改革に挑戦します。

みんなの声を区政に届け、安心して暮らせる足立区をつくるためにがんばります。

どうぞ、よろしくお願いします。

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/yuyokota2008>
メール yuyokota2008@yahoo.co.jp

新あだち

新あだち社 足立区日の出町27-3-1130 鈴木秀三郎
2019年2~3月号外 日本共産党足立地区委員会の見解を紹介します

日本共産党
針谷みきお区議からバトンタッチ

いのちとくらしが大切にされる区政に

消費税10%増税の根拠なし

10月から消費税10%増税を狙う安倍政権。その根拠が国会審議で総崩れになりました。

日本経済の6割を占める家計消費は消費税8%以後、いまだに回復していません。さらに、実質賃金はマイナスになっています。左記のグラフをご覧ください。実質賃金が6年前から14万円も落ち込んでいます。こんな時に5兆円もの増税をすれば日本経済に壊滅的な影響を与えます。今こそ、増税計画を中止させましょう。



消費税でない別の道がある

税金の集め方を公平に、大企業へ課税を中小企業などにするだけで4兆円、年所得1億円以上の高額所得者の株式配当など証券税制の見直しで1兆2千億円、法人税を安倍内閣以前に戻せば2兆円など、共産党の提案では17兆円の財源を増やすことができ、消費税を10%にする必要はありません。

さらに、大型再開発、軍事費、原発推進事業など、ムダ遣いを減らせば、3兆円の財源が確保できます。将来的には23兆円の財源を確保できます。国民生活を応援する政治に転換することを日本共産党は提案しています。

「均等割」を廃止すればこんなに安くなります

現在の国保料(税)		「均等割」「平等割」廃止後		協会けんぽの保険料	
給与年収 400万円 4人家族 30歳代の 夫婦 +子2人	東京都 特別区 42万6200円 大阪市 41万9500円 京都市 39万7400円 札幌市 41万3500円	22万2200円 26万 400円 24万2000円 28万 700円	19万8000円 20万3400円 20万 400円 20万5000円		
給与年収 240万円 単身者 20歳代	東京都 特別区 16万2600円 大阪市 20万2200円 京都市 17万7200円 札幌市 20万5600円	11万1600円 13万 800円 12万1500円 14万 900円	11万8800円 12万2000円 12万 200円 12万3000円		

国民健康保険は、国民にとって最後のセーフティネット（安全網）の役割を果たしています。足立区では給与年収400万円の4人世帯の場合、保険料は42万6千円ですが、中小企業の労働者が加入する協会けんぽなら保険料は19万8千円と半分以下になります。日本共産党は公費負担を1兆円増やし、国保料を著しく高くして「均等割」（人頭割）の廃止を提案しています。協会けんぽの保険料が下がり約22万円になります。ぜひ、実現してほしいと多くの区民から歓迎の声が寄せられています。日本共产党を躍進させて保険料の引き下げを実現しましょう



国保安くできる

母親の思いで 区民に寄り添いがんばります

日本共産党

横田 ゆうの区政政策



地元でただ一人、子育て女性の代表

横田ゆうさんに救われました

妻が脳梗塞になり、要介護4で車いすの生活になりました。私は働いており、家を留守にするため、夕方来てくれるヘルパーさんを探していましたが、なかなか見つからなくて困っていました。

そんな時、横田ゆうさんに相談したところ、ネットワークを利用して、すぐにヘルパーの手配をしてくれました。本当に横田ゆうさんに救われました。

古千谷本町 小田 孝（仮名）

バス路線に財政支援を答弁

足立区総合交通計画改定協議会で区は共産党委員の質問に答えて、答申案にバス路線に財政支援を明記すると答弁。



区議団が要望、実現した主な項目

- がん検診の3割負担撤回、ワンコインで実施へ
- 高齢者インフルエンザの無料（75歳以上）
- 胃がん検診（胃カメラ）の実施
- 若年者（18～39歳）健診の拡大
- 学校体育館にエアコン設置
- 愛の手帳4度の手当、被爆者見舞金の実現
- 学童保育室の計画的増設



区議団、針谷みきお区議とともに実現してきました！
横田 ゆう

区独自の教員採用で
35入学級の実現へ



14中体育館で区政報告する横田ゆうさん

高齢者のごみ戸別収集
紙おむつの支給改善を

旧入谷南小学校跡地利用は
防災機能と体育館などの計画を

ため込んだ基金を活用
ムダ遣いを改め区民施策に

再開発事業などつぎ込む税金のムダ遣いをなくし、1601億円と史上最高の基金の一部を活用し、区民要望のために使わせます

23区で一番多い不登校、いじめをなくすため、足立区独自の教員採用条例案を提案、35入学級をすすめます。

学力テスト偏重から、子どもの成長・発達を重視し、学校が好きな子どもを増やします。

条件緩和と、23区最低クラスの紙おむつ支給要件の緩和など提案し、実現をめざします。

足立区の新年度予算案が発表されました。この中には、日本共産党が区民とともに提案、区議会で質問してきた区民要望が数多く、反映されました。

①がん検診の自己負担3割を撤回し、

子宮がん・乳がん検診はワンコイン（500円）で実施する。
②学校体育館にエアコン設置
③被爆者見舞金、障害者愛の手帳4度に手当など多くの前進があります。

下段の通りです。